

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-214284

(43) 公開日 平成10年(1998) 8月11日

(51) Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

F I

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

3 3 0

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平9-33144

(22) 出願日 平成9年(1997) 1月30日

(71) 出願人 000004329

日本ビクター株式会社

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番  
地

(72) 発明者 山田 光二

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番  
地 日本ビクター株式会社内

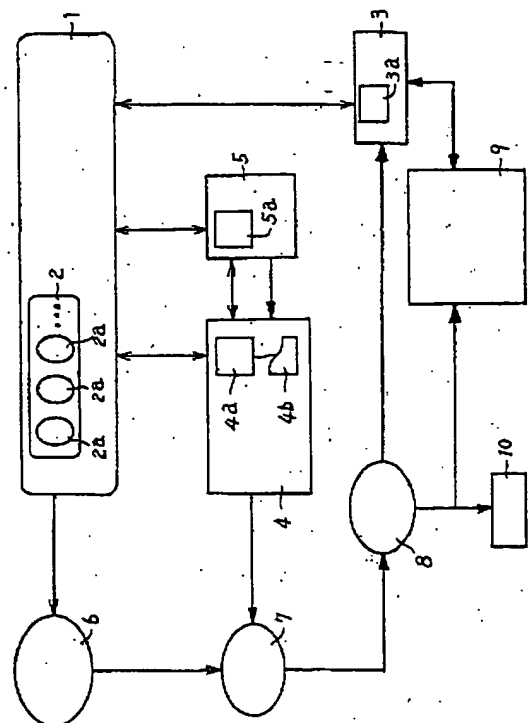
(54) 【発明の名称】 オンラインショッピングシステム及びそのサーバー

(57) 【要約】

【課題】 顧客の不在による商品配送業務の効率低下を解消し、顧客のタイムリーな商品受領が可能なオンラインショッピングシステムを提供する。

【解決手段】 サーバー1とサーバー1上に構築した仮想店舗2aとサーバー1に接続可能な顧客端末3aとを備え、顧客端末3aとサーバー1が通信を行って仮想店舗2aを介してサーバー1に商品発注を行うオンラインショッピングシステムにおいて、商品の配送先を顧客の居所又は顧客の居所の最寄りのコンビニエンスストアの何れかを選択可能に構成したオンラインショッピングシステム。

【効果】



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項1】 サーバーと、

該サーバー上に構築された仮想店舗と、  
該サーバーに接続可能な複数の顧客端末とを具備し、  
該サーバーと該複数の顧客端末が通信を行って、該各顧客端末から該サーバー上に構築された該仮想店舗を介して該サーバーに対して商品購入のための発注を行うように構成されたオンラインショッピングシステムにおいて、  
該顧客は、商品の発注に際して、該顧客の居所又は該居所の最寄りの商品中継所を該商品の配送先として該各顧客端末から選択可能に構成したことを特徴とするオンラインショッピングシステム。

## 【請求項2】 サーバーと、

該サーバー上に構築された仮想店舗と、  
該サーバーに接続可能な複数の顧客端末とを具備し、  
該サーバーと該複数の顧客端末が通信を行って、該各顧客端末から該サーバー上に構築された該仮想店舗を介して該サーバーに対して商品購入のための発注を行うように構成されたオンラインショッピングシステムにおいて、  
該顧客端末からの発注に際し、該サーバーが該顧客端末から受信する発注情報は、商品を特定する商品特定情報と、該商品の数量情報と、該商品の配送先情報とを少なくとも含み、  
該商品の該配送先情報は、該顧客の予め定められた居所、該顧客がその都度指定する第三者の居所又は該顧客の該居所の最寄りの商品中継所の何れかであることを特徴とするオンラインショッピングシステム。

【請求項3】 該サーバーは該仮想店舗の運営主体に設置された仮想店舗端末に該商品の該発注情報を通知し、  
該仮想店舗端末は、該発注情報を記録した納品伝票をその出力装置から出力する構成としたことを特徴とする請求項2記載のオンラインショッピングシステム。

## 【請求項4】 サーバーと、

該サーバー上に構築された仮想店舗と、  
該サーバーに接続可能な該仮想店舗の運営主体に設置された仮想店舗端末と、  
該サーバーに接続可能な複数の顧客端末とを具備し、  
該サーバーと該複数の顧客端末が通信を行って、該各顧客端末から該サーバー上に構築された該仮想店舗を介して該サーバーに対して商品購入のための発注を行うように構成されたオンラインショッピングシステムの該サーバーにおいて、  
該サーバーは、商品を特定する商品特定情報と、該商品の数量情報と、該顧客の予め定められた居所、該顧客がその都度指定する第三者の居所又は該顧客の該居所の最寄りの商品中継所の何れかの該商品の配送先情報とを少なくとも含む発注情報を該顧客端末から受信し、該発注情報を該仮想店舗端末に通知することを特徴とするオンラインショッピングシステムのサーバー。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、オンラインショッピングシステムに関し、特に顧客への商品の引き渡しを容易にするとともに、商品の配送を効率的にするオンラインショッピングシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 カatalogショッピング等の従来からの通信販売システムに加え、最近では、インターネットや各種パソコン通信の発達に伴い、所謂オンラインショッピングシステムが急速に普及しつつある。これらのシステムでは、商品の顧客への配送は、顧客が指定した顧客の住所又は居所（以下「顧客居所」という。）に宅配業者等が直接配送する配送システムが一般的にとられている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、このような配送システムでは、顧客が留守である場合には、商品の引き渡しができないケースがしばしば発生する。このような場合、宅配業者は、一旦、商品を自社倉庫へ持ち帰り、後日又は後刻再度配送を行う必要があり、極めて効率の悪い作業を強いられることになる。また、顧客もタイムリーに商品を受領できないという不便に甘んじなければならないことになる。このような不都合は取り扱い商品が生鮮食料品である場合には特に深刻である。そこで、本発明はこのような顧客の不在による配送業務の効率低下や、顧客の不便を解消するために、以下のような新しい配送システムを採用したオンラインショッピングシステムを提案するものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、斯かる問題点に鑑みなされたものであり、請求項1に係る発明は、  
「サーバーと、該サーバー上に構築された仮想店舗と、  
該サーバーに接続可能な複数の顧客端末とを具備し、  
該サーバーと該複数の顧客端末が通信を行って、該各顧客端末から該サーバー上に構築された該仮想店舗を介して該サーバーに対して商品購入のための発注を行うように構成されたオンラインショッピングシステムにおいて、  
該顧客は、商品の発注に際して、該顧客の居所又は該居所の最寄りの商品中継所を該商品の配送先として該各顧客端末から選択可能に構成したことを特徴とするオンラインショッピングシステム。」を提供するものであり、

【0005】 請求項2に係る発明は、「サーバーと、該サーバー上に構築された仮想店舗と、該サーバーに接続可能な複数の顧客端末とを具備し、該サーバーと該複数の顧客端末が通信を行って、該各顧客端末から該サーバー上に構築された該仮想店舗を介して該サーバーに対して商品購入のための発注を行うように構成されたオンラインショッピングシステムにおいて、該顧客端末からの発注に際し、該サーバーが該顧客端末から受信する発注情報は、商品を特定する商品特定情報と、該商品の数量情報と、該商品の配送先情報とを少なくとも含み、該商品

の該配送先情報は、該顧客の予め定められた居所、該顧客がその都度指定する第三者の居所又は該顧客の該居所の最寄りの商品中継所の何れかであることを特徴とするオンラインショッピングシステム。」を提供するものであり、

【0006】請求項3に係る発明は、「該サーバーは該仮想店舗の運営主体に設置された仮想店舗端末に該商品の該発注情報を通知し、該仮想店舗端末は、該発注情報を記録した納品伝票をその出力装置から出力する構成としたことを特徴とする請求項2記載のオンラインショッピングシステム。」を提供するものであり、

【0007】請求項4に係る発明は、「サーバーと、該サーバー上に構築された仮想店舗と、該サーバーに接続可能な該仮想店舗の運営主体に設置された仮想店舗端末と、該サーバーに接続可能な複数の顧客端末とを具備し、該サーバーと該複数の顧客端末が通信を行って、該各顧客端末から該サーバー上に構築された該仮想店舗を介して該サーバーに対して商品購入のための発注を行うように構成されたオンラインショッピングシステムの該サーバーにおいて、該サーバーは、商品を選定する商品特定情報と、該商品の数量情報と、該顧客の予め定められた居所、該顧客がその都度指定する第三者の居所又は該顧客の該居所の最寄りの商品中継所の何れかの該商品の配送先情報とを少なくとも含む発注情報を該顧客端末から受信し、該発注情報を該仮想店舗端末に通知することを特徴とするオンラインショッピングシステムのサーバー。」を提供するものである。

【0008】

【発明の実施の形態】本発明は、顧客がパソコン通信等で商品の発注購入をする場合、商品の配送先を自分の住所又は居所（顧客居所）あるいは予め指定した最寄りの商品中継所（例えば、コンビニエンスストア）の何れかを指定可能なオンラインショッピングシステムを提供するものである。以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。図1は本発明のオンラインショッピングシステムの実施の形態を概念的に示すブロック図である。

【0009】同図において、1はオンラインショッピングサービスの提供者が構築するサーバーであり、このサーバー1上には、複数の仮想店舗2aからなるショッピングモール2が構築されている。これらの仮想店舗2aやショッピングモール2は、図示しない大型コンピュータとその上で動作するプログラムと、外部記憶装置等の周辺装置を用いて仮想的に構成されるものである。

【0010】3は顧客端末3aを有する顧客である。顧客端末3aは、パソコンやゲーム機などのハードウェアとこれらのハードウェア上で動作するプログラムによって構成され、一般的には各顧客3の顧客居所に設置される。なお、同図では、煩雑を避けるために一の顧客3（一台の顧客端末3a）のみ示すが、一般的にはサービ

スに加入した複数の顧客が存在する。

【0011】4はサーバー1上の仮想店舗2aの運営主体である小売業者であり、小売業者4には仮想店舗端末4aが設置されている。小売業者4は、オンラインショッピングサービスの提供者との契約により、サービス提供者に委託してサーバー1上に仮想店舗2aを出す。

【0012】5は仮想店舗2aの運営主体である小売業者4に商品を提供するメーカー又は卸業者であり、このメーカー又は卸業者5にはメーカー端末5aが設置されている。6は宅配業者の商品センターであり、サーバー1から商品の引き取りに関する情報を受けると、当該商品を受け取るべき小売業者4に最も近い宅配業者の発店7に引き取り指示を行う。8は宅配業者の着店であり、発店7から商品の配送を受けて最終的な配送先へ配送する。また、9は顧客3の最寄りのコンビニエンスストアである。

【0013】さて、このオンラインショッピングシステムのサービスの提供者は、加入会員（顧客3）に対して決算方法や各会員を識別する顧客識別情報を登録するとともに、各会員には、当該顧客識別情報を記録したIDカードを各会員の入会手続きにより発行しておく。

【0014】そして、オンラインショッピングシステムを利用して顧客3が顧客端末3aから商品の注文を行う場合、顧客3は発注情報として、顧客識別情報とその商品を選定する商品特定情報、注文数量情報、及びその配送先情報を少なくともサーバー1に送信する。その際、商品の配送先として、顧客居所に加えて、該顧客居所の最寄りの商品中継業者（例えば、長時間営業の所謂コンビニエンスストア）の2つの配送先から希望の配送先を顧客3は予め選択する。なお、顧客3が特定の人10に贈答品を贈る場合は、当該特定の人10の住所又は居所を指定できることはいうまでもない。

【0015】サーバー1は、顧客端末3aから受信した発注情報を受注情報として仮想店舗端末4a及びメーカー端末5aに送信するとともに宅配業者の商品センター6に引き取り日時と小売業者4を選定する情報を通知する。サーバー1から受注情報を受信した小売業者4の仮想店舗端末4aは、メーカー5のメーカー端末5aに当該商品を発注するとともに受注情報から配送先情報を含む必要な情報を図示しない納品伝票に記録してプリンタ4bに出力する。メーカー端末5aが仮想店舗端末4aからの発注情報を受信するとメーカー又は卸業者5は、小売業者4に当該商品を発送する。

【0016】小売業者4は、メーカー又は卸業者5から着荷した当該商品に納品伝票を添付し商品センター6からの引き取り指示に基づいて集荷にきた発店7の宅配業者に当該商品を引き渡す。発店7の宅配業者は、顧客3（顧客居所）の最寄りの着店8の宅配業者に当該商品を引き継ぐ。着店8の宅配業者は、当該商品に添付された

納品伝票の配送先情報を確認して最終配送先へ当該商品を配送する。即ち、着店8の宅配業者は、当該商品に添付された納品伝票の配送先情報として顧客居所が指定されている場合には、その住所へ配送し、顧客3の最寄りのコンビニエンスストア9が指定されている場合には、そのコンビニエンスストア9に配送する。なお、納品伝票の配送先情報として特定の人10に贈答品を贈るべき特定の人10が指定されている場合は、発店7の宅配業者は当該特定の人10の最寄りの着店に商品を配送し、着店の宅配業者は当該特定の人10の住所又は居所に配送することはいうまでもない。

【0017】そして、顧客は配送先としてコンビニエンスストア9を指定して商品の発注を行った場合には、予定の商品日時以後の都合の良いときにそのコンビニエンスストア9へ当該商品を受領しに行けばよい。この際、コンビニエンスストアの店員は、顧客のIDカードに記録された顧客識別情報と商品に添付された納品書の顧客識別情報を照合して、顧客に商品の引き渡しを行う。このような配送システムを採用したオンラインショッピングシステムによれば、宅配業者は顧客の不在による再配送という無駄を省くことができるとともに、顧客もまたタイムリーに商品を受領することができ、極めて望ましい。

【0018】なお、コンビニエンスストア9とサーバー1も回線で結び、コンビニエンスストア9における顧客3への商品の引き渡しの認証をオンラインで行ったり、コンビニエンスストア9と顧客端末3aを回線で結びコンビニエンスストア9から顧客3へ商品の着荷を通知するようにしてもよい。

【0019】

【発明の効果】以上説明したように、本発明オンラインショッピングシステムによれば、顧客はその端末から商

品の発注をする際に、自己の都合によりその商品の配送先を、自己の居所又は、自己の居所の最寄りの商品中継所の何れかを任意に選択できるため、商品の受領を確実に行うことができる。すなわち、顧客は商品配送時に確実に在宅であると予想される場合には、自己の居所を指定することにより、自己の居所で当該商品を受領でき、又不在が予想される時には最寄りのコンビニエンスストアを指定することにより、顧客の都合の良いときにそのコンビニエンスストアで商品を受領することができるものである。

【0020】また、宅配業者も、顧客が留守の場合には原則として、配送先が顧客の最寄りのコンビニエンスストアに指定されているため、顧客の留守宅への配送頻度が減少し、効率的な配送業務を実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のオンラインショッピングシステムの実施の形態を概念的に示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 サーバー
- 2 モール
- 2 a 仮想店舗
- 3 顧客
- 3 a 顧客端末
- 4 小売業者
- 4 a 仮想店舗端末
- 4 b プリンタ
- 5 メーカー又は卸業者
- 5 a メーカー端末
- 6 商品センター
- 7 宅配業者の発店
- 8 宅配業者の着店
- 9 コンビニエンスストア

【図1】

